

神 稻 荷

《志 茂》

志茂の東の端の山頂にある稲荷様である。ここはかつて城があつた所で、当時は城の守りの稲荷様と呼ばれ、木戸の所は、今でも大門と呼称している。

いつ頃の城か、何という殿様がいたのか、誰も分かつていない。今も小さい石の祠が建てられている。これは、天明年間の飢饉の年に、村人が五穀豊穰を祈って、建てたもので、今なお村人は御参りをかかさない。

(話者 井跡忠兵衛)

三嶽神社と白藤

《小 中》

三嶽神社は小中、上(古くは上小中村)の鎮守様である。

豊臣家の家臣であつた小泉權之守は、大阪落城の際に、東北地方に落ち延びて、元和八年、御宅の地に稲荷様を祀つて、村神主となつて代々住んだという。後に、村人のすゝめによつて、元祿十年、七郎内の地に移つて、小中村の一部を分けて、一村をなし、上小中村と称した。

神稲荷

